



Technical News Paper

発行日 11月8日 発行者 武工新聞部

新生徒会長に赤星くん



↑友人とじゃれあうおちゃめな赤星生徒会長

武工生らしい学校を

十月十五日(金)に第一体育館で生徒会選挙が行われた。生徒会長には赤星圭造くん(2・1)が信任された。副会長には、和田睦司くん(2・4)と新保宏介くん(2・2)の二名が立候補し、選挙の結果、新保くんが当選した。

学校への思い

後期生徒会、会長に新任された赤星圭造くん(2・1)に、インタビューをした。彼に今の学校の雰囲気や、同級生から信頼されている赤星くん。AKB48のメンバーの「とちん」こと板野友美の熱狂的ファンであることは、今年の文化祭で皆さ

らもご存知のはず。そのAKB48に対する熱い思いを、後期は生徒会活動に向けて頑張っている。いつも明るく、先輩・後輩、そして同級生からも信頼されている赤星くん。AKB48のメンバーの「とちん」こと板野友美の熱狂的ファンであることは、今年の文化祭で皆さ

美術鑑賞会

江戸の浪漫を感じて

十一月一日(月)、本校図書室にて美術鑑賞会が行われた。今回のテーマは『江戸の細密金工』。講師に福井県立美術館学芸員の戸田浩之さんと福井県教育庁文化課の長谷川義人さんを招き、江戸時代に作られた刀装具や煙草入れが展示された。会場内には教員と生徒、二十数名が集まった。会場内は和やかな雰囲気にも包まれ、参加者は戸田さんの説明に興味津々で聞き入っていた。この工芸品に使われ



↑戸田さんの説明を聞く参加者 工芸品に見入る参加者↓



ている技術は一朝一夕で身につくものではない。幼少の頃から始め、更に十年以上の修業を積んでもまだ一人前とはいえないそうだ。実際に展示品が参加者の目の前に出された時にはその芸の細かさ、美しさに大興奮だった。実際に手袋をつけて触れたときにはその重さや歴史を感じ感嘆の声を漏らしていた。今回の企画について、参加者の反応がとても良かったと振り返る長谷川さん。(梅田)

三大公約



↑笑顔の新保副会長

後期生徒会副会長に当選した新保宏介くん(2・2)に当選した時の気持ちを聞いたところ、「みんなに選ばれたのが嬉しかった。みんなと、全生徒の思いを背負った責任感のあるコメントをもらった。新保くんが考えているマニユフェストは、自動販売機の販売時間の延長、購買

マラソン大会中止!

十一月二日(火)に予定されていたマラソン大会は天候不良のため、中止となりました。秋の毎年恒例のマラソン大会がなくなってしまう残念だ。



今回の美術鑑賞は個人的に興味があったので、立場と我を忘れて楽しませていただいた。

今回鑑賞した細密金工の技術の中には、現代ではどのような技術が使われたか分からないものもあるらしい。廃れた技術を惜しむ気持ちもあるが、ある意味当然とも言える結果だ。今後はもう刀自体を必要としない時代となった。それを装飾する金工の技術がなくなることも仕方ないことだ。だが、後世の人にも楽しんでもらえるようなものを作るだけでも一苦労だ。工業高校に在籍する者として、無くなることを惜しんでもらえるような技術を身につけ、作品を作れるようになりたいものである。(細井)